

令和4年度 中野区立北中野中学校 学校経営方針

◆東京都教育委員会の教育目標

東京都教育委員会は、子供たちが、知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かに成長することを願い、

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

の育成に向けた教育を重視する。

また、学校教育及び社会教育を充実し、だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる社会の実現を図る。

そして、教育は家庭、学校及び地域のそれぞれが責任を果たし、連携して行われなければならないものであるとの認識に立ち、すべての都民が教育に参加することを目指す。

◆中野区教育委員会の教育理念と目指す人間像

「一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む」

- 生命を尊重し、やさしさや思いやりの心をもつ人
- コミュニケーション能力を高め、豊かな人間関係をつくる人
- 自ら考え、創意工夫し課題を解決する人
- 自らの健康や体力の増進を図る人

◆北中野中学校の教育目標

- ◇ 自ら考え 正しく判断し 実践できる人
- ◇ 自他を大切にし 社会に貢献できる人
- ◇ 健やかで 人間性豊かな人

◆学校経営の基本となる方針

1. 目指す学校像

- (1) 生徒の力を伸ばし、一人ひとりを大切にする学校
- (2) いじめがなく、すべての生徒が楽しく安心して生活することができる学校
- (3) 将来にわたって必要となる力を身につけさせ「たくましく生きる力」を培う学校
- (4) 生徒が自らの存在意義を実感し、将来の夢を育むことができる学校
- (5) 保護者・地域から信頼され、連携して生徒を育てる学校

2. 教職員の基本姿勢

- (1) 未来の日本、これからの社会を担う人材を育成するという社会的使命感をもつ。
- (2) 教育者として、一般の社会人よりも高い倫理観や信頼のおける言動が求められることを理解して職務を遂行する。
- (3) 生徒への指導や学習評価など、教育活動について明確に説明責任を果たす。
- (4) 公務員として、生徒や保護者、地域と誠実に向き合い、親切で丁寧な対応を行う。
- (5) 「チーム北中野」として、教職員全員が生き生きと仕事ができるようにチームワークを大切にし、チームとして最大の教育力を発揮することを追求する。
- (6) 社会の動きや教育改革の流れに対応できるよう、常に情報の収集と自己研鑽に努める。
- (7) ライフ・ワーク・バランスを意識し、健康かつ意欲的に職務に取り組むことができるよう、仕事の効率化を図りオンとオフを明確にする。

3. 保護者や地域とともに協力して子どもを育む

- (1) 学校生活と家庭や地域での様子の両方について詳細な情報交換に努め、連帯して子どもの成長に責任をもつ。
- (2) 保護者や地域の要望等に傾聴する姿勢をもち、同時に学校としての考えも明確に示す。
- (3) 「父母と教師の会」、「高遙会」、「ぴよこたん」等、学校を支援してくれる保護者や地域の活動に積極的に協力し、協働体制を築く。
- (4) 生徒を地域の行事等に積極的に参加させ、地域の一員としての意識を育む。
- (5) 教職員も地域の行事に積極的に参加することで、地域と学校の関係強化に努める。
- (6) 正門と北門にある掲示板やホームページ、Google Classroom や各種たより等を活用した情報発信を充実させ、学校に対する保護者や地域の理解をより深める。

◆教育目標を達成するための具体的な取り組み

1. 学習指導において

- (1) チャイム着席(生徒)、チャイム黒板(教師)を守り、時間通りに始まり時間通りに終わる授業の実践と、忘れ物チェックや学習活動の統率など、授業規律を確立するための基本的な事柄を徹底させ、真剣に学習に取り組む態度を育てる。
- (2) 話し合い活動を積極的に取り入れることで思考力と表現力の育成を図るとともに、時代の流れに沿った新しい授業スタイル(学び)への改善を進める。
- (3) ICTを効果的に活用して生徒の学習意欲を引き出し、分かりやすい授業を構築する。
- (4) 毎時間の目標および学習活動や授業内評価を明確にすることで、見通しをもって授業を受けられるようにするとともに指導と評価の一体化を図り、学習意欲の向上に繋げる。
- (5) 基礎・基本を定着させる学習課題を提示することで、家庭学習習慣の定着を進める。
- (6) 習熟度が低い生徒への補充学習等の手立てを工夫することで、学習を諦めさせない。

2. 生活指導において

- (1) 「あじみこ」(あいさつ・時間・身だしなみ・言葉遣い)の指導を徹底し、生徒の規範意識を醸成する。
- (2) 社会や学校のルール、公共のマナーに関する指導を繰り返し丁寧に行うことで、義務教育の修了にふさわしい社会性を育成する。
- (3) 整然とした心が落ち着く環境作りのために整理整頓と清掃を徹底させ環境美化に努める。
- (4) 指導案件の発生時には、被害生徒や保護者の思いを受け止め、迅速かつ丁寧に対応するとともに、子どもを納得させる指導によって、生徒・保護者と学校の良い信頼関係を築く。
- (5) ボランティア活動を活性化させることで社会貢献の精神を培い、より良い社会をつくろうとする態度を育成する。

3. 進路指導や特別活動において

- (1) 3年間を見通した進路指導とキャリア教育を進めることで、生徒一人ひとりに自己の生き方や在り方について考えさせ、自己実現に向けて努力する姿勢を育成する。
- (2) 道徳の時間の指導内容を充実させ、規範意識や人権意識、生命尊重の精神の醸成を図る。
- (3) 各種の行事や生徒会活動、部活動において、生徒の主体的な活動を大切に、達成感や連帯感、自己有用感を育むことで主体性を高め、生徒自治の実現を図る。

◀ 本年度の重点取り組み事項 ▶

[1] 授業改善…生徒の学習意欲を引き出し、学力をのばす授業への改善を進める

- ① ICT 機器や iPad を効果的に活用して、生徒の興味・関心を引き出す授業に。
- ② 講義型授業からの脱却。教師が話しすぎない、教えすぎない、生徒に考えさせる授業を。
- ③ 「聞く」「書く」以外の学習活動を増やすことと、主体的に学習に取り組むための工夫を。

[2] 「中野区学校教育向上事業・研究指定校」として全教職員で研究に取り組みます

- ① 研究のテーマは「新しい生徒指導の在り方」です。「生徒指導」は、授業や補習、宿題などの学習指導、学校行事、生活指導、進路指導、生徒会活動など、生徒が関わるあらゆる活動が対象です。生徒の学校生活を充実させるための取組をいろいろな切り口から考えて取り組んでいきます。
- ② 「学校が楽しい」「自分たちで作る学校生活」という意識を生徒がもてるように、様々なことを生徒自身に考えさせ、決めさせる視点を大切にしてください。
- ③ 新しい学校教育への変換を進めていきたい。これまでの繰り返しではなく、新しい発想で、生徒のためになること、生徒の力が伸びること、生徒が喜ぶようなことを考えて積極的に形にしてほしい。(区や都の施策で行っていること以外については、教育的効果を考慮しながら、これまで慣例的に行ってきたことを中止することも考える。)

[3] 「保幼小中連携」に関する取組を強化する

- ① 北中野中学校区の連携テーマは「本に触れる機会を大切にし、読書に親しむ態度を育成する」です。図書館の積極的な活用、朝読書の計画的な実施、学級文庫の充実化を進めるとともに、より多くの生徒が図書館を訪れるような取組を。
- ② 夏休み明けの合同引取訓練を上鷲宮小、武蔵台小と3校で連携して行い、その他にも連携・合同でできる取組を考えていきたい。
- ③ 直接交流と間接交流の両面で、生徒がボランティアとして小学生や幼稚園児とかかわる機会を積極的に作る。

[4] 不登校や教室に入れない生徒への対応の充実化を進める

- ① 自宅や別室からオンラインで教室の様子を見たり、授業に参加したりできる対応を。
- ② 学校（学年や担任）と定期的につながるよう、電話連絡や家庭訪問、オンラインでのやりとりなどを充実させる。
- ③ 何処にも繋がっていない生徒をゼロにする。

[5] 1人一台端末(iPad)とGoogle Classroomの多角的な活用と充実

- ① 生徒用デジタル教科書(英語、社会)は授業だけでなく家庭学習でも積極的に活用できる工夫を。
- ② 委員会活動や行事、部活動など、学校生活のあらゆる場面に活用を広げる。
- ③ 日常的な活用と同時に正しい発信や節度のある使用など、デジタル機器によって生活を乱されないためのモラル面での教育の充実を。

[6] その他、よりよい学校づくりの視点で重点的に取り組む事項(再掲)

- ① 学校から保護者や地域への情報発信をより充実させる。ホームページでの教育活動の紹介や、Google Classroom を活用した配布文書等の通知など充実させ、学校に対する保護者や地域の理解をより深める。
- ② 補習や放課後の学習指導など、理解度の低い生徒を置き去りにしない手立てを充実させることで、学習を諦めさせない。
- ③ 校内の美化と教室の整理整頓を進め、整った環境で学校生活を過ごせるようにすることで生徒の心の安定と北中野中学校への愛校心を育む。
- ④ 生徒がボランティア活動に参加する機会を数多く作り、様々な場面で社会の役に立つ経験をさせることで、社会貢献の精神と自己有用感を醸成する。